

令和6年度千種区政運営方針(あじさいプラン2024)取組結果について

※取り組み結果の内容は各事業シートをご覧ください

1 評価基準 目標達成率(5段階による自己評価)

☆☆☆☆	100%以上
☆☆☆	80%以上100%未満
☆☆	50%以上80%未満
☆	50%未満
—	全て中止

2 評価結果

	No	取組事業	目標達成率					掲載ページ
			☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	—	
めざすまちの姿1	1	指定避難所開設・運営のための講習・訓練		○				3P
	2	地区防災カルテ等を活用した地域防災活動の推進	○					4P
	3	風水害・地震に備えた防災訓練	○					
	4	消防団員確保の支援		○				5P
	5	安否確認の取組みの推進	○					
	6	戸別訪問等による家具等転倒防止対策の推進			○			6P
	7	救命講習等	○					
	8	ちくさ子ども防災キャンプ	○					7P
	9	わかものを対象とした防災講座	○					
	10	外国人を対象とした防災講座	○					8P
	11	防犯活動の推進		○				
	12	交通安全啓発活動の推進		○				9P
	13	地域コミュニティの活性化		○				10P
	13事業		7	5	1	0	0	
めざすまちの姿2	14	新生児乳児家庭訪問	○					11P
	15	エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)		○				12P
	16	子育てサロンの支援	○					
	17	子育て家庭に対する連携した支援と児童虐待の防止	○					13P
	18	こあらっち子育て応援講座		○				14P
	19	子育てネットワーク事業の推進		○				15P
	20	外国人家庭の子育て支援	○					16P
	21	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室	○					17P
	22	乳幼児期の食事づくりの支援(離乳食レシピ集の作成)		○				
	23	防犯・交通安全・非行防止啓発等による青少年健全育成	○					18P
	24	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動		○				
	11事業		6	5	0	0	0	

	No	取組事業	目標達成率					掲 載 ページ
			☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	—	
めざすまちの姿3	25	地域包括ケアシステムの推進	○					19P
	26	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発		○				20P
	27	高齢者の見守り活動	○					20P
	28	高齢者の仲間づくり支援	○					21P
	29	認知症サポーターの育成・活動支援	○					21P
	30	認知症に対する正しい理解と知識の普及	○					22P
	31	千種つるかめセミナー フレイル講演会			○			22P
	32	千種つるかめセミナー かめクッキング・男性クッキング	○					23P
	33	ママのための口コモ予防教室	○					23P
	34	歯の健康づくりの推進		○				24P
	35	大学生を対象とした性感染症予防キャンペーン			○			24P
	36	啓発事業の実施とヘルプマークの普及	○					25P
	37	障害のある人への情報発信と防災研修	○					25P
	38	授産製品の販売促進		○				26P
	39	発達障害家族のつどい(家族教室)	○					26P
15事業			10	3	2	0	0	
めざすまちの姿4	40	千種区情報リーフレット「みちくさマップ」を活用した魅力発信			○			27P
	41	千種区民まつり		○				28P
	42	まちかど発掘事業		○				28P
	43	アジサイいっぱい運動		○				29P
	44	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」による区の魅力発信		○				29P
	45	区公式ウェブサイト等の広報ツールを活用した魅力発信		○				30P
	46	謎解きで地域の魅力発見	○					30P
	47	文化芸術活動の振興		○				31P
	48	生涯スポーツの振興		○				31P
9事業			1	7	1	0	0	
めざすまちの姿5	49	クリーンキャンペーン		○				32P
	50	資源とごみの分別等の周知	○					33P
	51	ペットの飼主マナーの向上に関する啓発活動		○				33P
	52	空家の適切な管理の促進	○					34P
	53	空地をきれいにする運動	○					35P
	54	住居の不良堆積物への対策	○					36P
	55	地域貢献メニューへの参加促進		○				37P
	7事業		4	3	0	0	0	
信頼される区役所づくり	56	千種区区民会議	○					38P
	57	区民アンケート			○			39P
	58	地域担当制による地域との連携		○				40P
	59	千種区わかもの会議	○					41P
	60	わかもの向けの選挙啓発		○				41P
	61	窓口環境の整備		○				42P
	62	接遇の向上		○				43P
	63	業務改善	○					44P
	64	多文化共生に向けた取り組み	○					44P
9事業			4	4	1	0	0	
計64事業			32	27	5	0	0	

地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち

施策1 地域防災力の向上を図ります

施策2 犯罪や交通事故のない安心・安全な地域づくりを進めます

区将来ビジョン	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
	地域における防災への取り組みが進んでいると思う区民の割合	72.8%	63.4%	87%
	家庭で家具の固定などの転倒防止対策を行っている区民の割合	74.7%	68.2%	100%
	安否確認を実施している自主防災組織の割合	—	39.5%	100%
	犯罪や交通事故のない、安心・安全なまちづくりが進んでいると思う区民の割合	74.9%	62.5%	78%
	区内における刑法犯の認知件数	1,070件 (令和5年)	1,169件 (令和6年)	1,000件
	区内における年間交通事故死者数	1人 (令和5年)	6人 (令和6年)	0人
	町内会・自治会の活動が大切だと思う区民の割合	84.6%	74.0%	87%

【事業シート】

取組名1	指定避難所開設・運営のための講習・訓練			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	災害の発生時に、地域住民が円滑に避難所を開設・運営できるようにします。			
取組内容	地域住民や防災関係機関と協力し、講習・訓練を実施します。 ・対象:災害対策委員、自主防災組織のリーダーおよび地域住民 ・単位:学区または自主防災組織 ・内容:避難所開設・運営に関すること			
令和6年度 目 標	避難所開設・運営に関する 講習・訓練の実施学区数	実 績 値	目 標 値	
		14 学区	15 学区	
取組結果	14 学区(千種・千石・内山・上野・高見・春岡・田代・東山・見付・星ヶ丘・自由ヶ丘・富士見台・宮根・千代田橋)で実施 ※春岡学区は自主防災組織の訓練 ※大和学区は自主防災組織の訓練が行われたが、避難所開設・運営の要素を含まないもの			

取組名2	地区防災カルテ等を活用した地域防災活動の推進			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	地域住民が、自主的・主体的に地域の防災について考え、それぞれの地域特性を踏まえた活動を行えるようにします。			
取組内容	地区防災カルテ等を活用した話し合いや、防災講習・訓練を実施し、日頃の防災・減災活動や災害発生時に中心的な役割を担うリーダーを育成します。 ・対象:災害対策委員および自主防災組織のリーダーを主とした地域住民 ・単位:学区または自主防災組織 ・内容:地域特性の把握と災害対策・災害時の役割分担・今後行うべき訓練などの話し合い 避難所の開設・避難所資機材の使用訓練など			
令和6年度 目 標	防災に関する話し合い、 講習または訓練の実施学区数	実 績 値		目 標 値
		15 学区		15 学区
取組結果	全15 学区にて実施			

取組名3	風水害・地震に備えた防災訓練			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	地域住民や防災関係機関と連携して大規模災害に備えます。			
取組内容	地域住民や防災関係機関と災害発生時の対応を確認し、相互の連携を強化します。 ・内容:総合水防訓練の実施 総合防災訓練の実施 医療救護所設置・運営訓練への参加・連携確認 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施			
令和6年度 目 標	各防災訓練の実施	実 績 値		目 標 値
		実 施 ※総合防災訓練は台風接近により全市的に中止		実 施
取組結果	実施状況(実施会場)			
	総合水防訓練		千代田橋小学校	
	総合防災訓練		(中止)	
	医療救護所設置・運営訓練		今池中学校	
	災害VC設置・運営訓練		ヒビリゲート吹上	
	総合防災訓練は台風接近により全市的に中止			

取組名4	消防団員確保の支援			継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)		
目的	地域防災力の要である消防団員の充足率を上げ、地域防災力の向上を図ります。			
取組内容	・区民の集まる行事で消防団を紹介するとともに消防団員募集活動を実施 ・自主防災訓練会場において消防団員募集活動を実施 ・SNSを活用し消防団活動のPR等とともに消防団員募集広報を実施 ・女性消防団員の活躍を紹介することなどにより、女性消防団員数の増加を図る			
令和6年度 目 標	消防団員の充足率	実 績 値	目 標 値	
		69.6% (実員数261名)	73.3% (実員数275名)	
取組結果	令和7年3月31日現在、千種区消防団連合会 15 消防団の団員数は、定員375名のところ261名(男性:215名、女性:46名)である。			

取組名5	安否確認の取組みの推進			新 規
担当所属	消防署	関係部所(署)		
目的	発災直後迅速に「安否確認」を行うことができるよう、方法の検討や実動訓練等の支援を進め、各自主防災組織が救出救護等の活動を円滑に実施できるようにします。			
取組内容	自主防災組織における安否確認方法の検討、実動訓練の支援をします。			
令和6年度 目 標	安否確認の取組みが行われている 自主防災組織の割合	実 績 値	目 標 値	
		39.5%	20%	
取組結果	自主防災組織324組織のうち安否確認の取り組みが行われたのは128組織(39.5%)である。			

取組名6	戸別訪問等による家具等転倒防止対策の推進			継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)		
目的	死傷・逃げ遅れの原因となる家具等の転倒を防止するための対策をすることで、大規模地震発生時の人的被害を軽減します。			
取組内容	・戸別訪問事業を実施(4学区) ・千種区家具転倒防止ボランティアを派遣(随時)			
令和6年度 目 標	家具等の転倒防止対策を行っている 区民の割合	実 績 値	目 標 値	
		69%	80%	
取組結果	戸別訪問実施状況			
	千石学区 5月11日～5月19日 4,157世帯訪問 内山学区 6月 1日～6月 9日 6,189世帯訪問 春岡学区 6月22日～7月 7日 7,294世帯訪問 大和学区 7月20日～7月28日 3,653世帯訪問 合計			

取組名7	救命講習等			継 続
担当所属	消防署		関係部所(署)	
目的	より多くの住民に正しい応急手当の知識及び技術を身につけてもらい、救命率の向上を目指します。			
取組内容	・自主防災訓練の訓練項目として心肺蘇生法等を取り入れる ・消防署における定期救命講習の実施 ・事業所等への職員派遣による救命講習の実施			
令和6年度 目 標	救命講習受講者数		実 績 値	目 標 値
			3,911名	3,000 名
取組結果	1 自主防災組織への応急手当講習	22回	1,549名	
	2 大学等学生への応急手当講習	66回	2,358名	
	3 定期救命講習	3回	4名	
	合 計	91回	3,911名	

取組名8	ちくさ子ども防災キャンプ			区独自 継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	将来の防災の担い手となる児童の防災意識の向上や知識の習得を図ります。			
取組内容	区内在住の小学校4～6年生および保護者を対象に、実践的な内容を盛り込んだ宿泊型の訓練を実施します。 時期:10月中旬の土曜午後～日曜朝まで 一泊二日で実施予定 会場:小学校体育館等 内容:避難所宿泊体験、初期消火訓練、応急手当訓練、応急給水訓練、災害時のトイレ講習、被災地(陸前高田市)語り部講演など(予定)			
令和6年度 目 標	参加者満足度	実 績 値		目 標 値
		100%		100%
取組結果	参加者:54名(保護者:23名、児童:31名) 保護者を対象にアンケートを実施したところ、回答者全てから満足した旨の回答を得られた			

取組名9	わかものを対象とした防災講座			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)		
目的	学生の防災意識の向上や知識の習得を図ります。			
取組内容	災害発生時に活躍が期待される学生を対象とした防災講座を実施します。 ・対象:区内の小中高校・大学・専門学校などの学生 ・内容:自分や家族を守る「自助」、学校や地域で助け合う「共助」の意識、災害時の避難行動、事前の備えなど			
令和6年度 目 標	学生向け防災講座の実施回数	実 績 値	目 標 値	
		10回	7回以上	
取組結果	10回実施			
	7月	梶山女学園 防災講座	31人(学生＋一般女性)	
	7月	名古屋商業高校防災講話	約900人(全校生)	
	7月	見付小学校防災授業	約70人(4年生) ※支援	
	9月	東星中学校 防災訓練	約500人(全校生)	
	9月	市邨高校防災講話	78人(防災委員)	
	9月	猪子石中学校 防災授業	約200人(2年生) ※支援	
	11月	市邨高校防災講座	457人(2年生)	
	11月	市邨高校防災講座	525人(1年生)	
	11月	田代小学校 防災授業	約200人(4年生) ※支援	
1月	千種中学校 防災講座	12人(1年生)		

取組名10	外国人を対象とした防災講座		区独自 継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	
目的	外国人の防災意識の向上や知識の習得を図ります。		
取組内容	日本の文化・習慣が定着していない外国人向けに、国際交流関係機関やNPO、日本語学校などと協力し、やさしい日本語による防災講座を実施します。 ・対象:区内在住・在学・在勤の外国人 ・内容:日本における災害の種類や避難行動、災害情報の入手方法、事前の備えなど		
令和6年度 目 標	外国人向け防災講座の実施	実 績 値	目 標 値
		実施	実施
取組結果	・国際センター主催の、外国人向け「やさしい日本語」による防災講習に参加・協力 ・NPOが実施する、名古屋大学の留学生向けの日本語会話サロンにおいて、「やさしい日本語」による防災講習を実施(4、5、7月の3回、延約20人)		

取組名11	防犯活動の推進			継 続
担当所属	地域力推進課		関係部所(署)	警察署
目的	多発する犯罪に対して、効果的な被害防止に向けた啓発活動、広報及びパトロールに取り組み、区内の犯罪発生件数の減少を目指します。			
取組内容	・警察等と協働で、多発する特殊詐欺被害の防止に向けて、被害者の約8割を占める高齢者をはじめ加害者となりうる高校生・大学生などに対し、重点的に講話や啓発活動を実施 ・警察等と協働で、多発する自転車盗難被害の防止に向けて、利用者が多く集まる駅周辺等や高校・大学において、重点的に啓発活動を実施 ・犯罪の発生状況に応じた効果的な広報を行うほか、区役所の青色回転灯装備車によるパトロールを頻繁に実施			
令和6年度 目 標	防犯啓発活動の対象者数		実 績 値	目 標 値
			12,667 人	13,300 人
取組結果	【啓発活動】 ○千種区内全15学区で啓発活動を実施。 ○件数等が増加傾向にある住宅侵入盗、特殊詐欺の啓発活動に力を入れて取り組んだ。			
	罪種		回数	備考
	特殊詐欺	高齢者	32	キャンペーンや年金支給日時の啓発、講話
		若年層	3	闇バイトの啓発
	自転車盗		23	主に、5月と11月にキャンペーン実施 内訳は、区内の高校・大学5
	その他		28	主に、住宅対象侵入盗、自動車盗等
	【広 報】			
	種別		主な内容	
	広報媒体		区ウェブサイト・行政情報モニター・フェイスブック・エックス	
	放送・ポスター掲示個所数 (市民運動期間中)		29施設(※区内大規模小売店舗、公所)	
【パトロール】 ・青色回転灯装備車(第1・3水曜、市民運動期間中など) 75回				

取組名12	交通安全啓発活動の推進			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	警察署	
目的	区内の交通事故情勢を分析し、効果的な啓発活動、広報、パトロールを実施し、区内における交通事故発生件数・交通事故死亡者数の減少を目指します。			
取組内容	・地域住民や警察、学校と協働で、交通事故死傷者として大きな比重を占める高齢者に対して重点的に啓発活動を行うほか、スーパー等において交通安全キャンペーンを展開 ・自転車利用者の交通事故が多発傾向にあることから、自転車利用者に対して重点的に啓発活動を行い、交通ルール順守の徹底のほか、反射材やヘルメットの着用を促進 ・高校や大学と協力し、高校生や大学生に対しても啓発活動を実施			
令和6年度 目 標	交通安全啓発活動の対象者数	実 績 値	目 標 値	
		24,907人	25,400 人	
取組結果	【啓発活動】			
	対象者	回数	備考	
	園児・児童	53	交通指導員による交通安全教室	
	高齢者	40	大型店舗等での啓発活動	
	自転車	22	自転車安全利用キャンペーン ※うち4回は、協定(※)に基づくもの	
	※高校・警察・区役所の交通安全推進に関する連携協定に基づき、高校の生徒と協力し、同校生徒に向けた自転車安全利用啓発活動を実施			
	【広 報】			
	種別	主な内容		
	広報媒体	区ウェブサイト・行政情報モニター・フェイスブック・エックス		
	放送・ポスター掲示個所数 (市民運動期間中)	29施設(※区内大規模小売店舗、公所)		
【パトロール】				
・交通事故死ゼロの日の早朝、年4回の県内一斉交通大監視の日に実施				

取組名13	地域コミュニティの活性化		拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	町内会・自治会への加入促進を図るとともに、住民の自主的なコミュニティづくりを支援することで、安心・安全で快適なまちづくりを推進します。		
取組内容	・町内会・自治会の活動を伝えるリーフレット等を作成し転入者に配付するほか、広報なごや、区ウェブサイト、SNS等を活用し、地域の取り組みを積極的に発信 ・加入希望者の自治会・町内会への取り次ぎを行う ・住宅関連事業者に対して自治会・町内会への加入促進について協力を依頼 ・地域コミュニティを目指し、交流会を開催		
令和6年度 目 標	コミュニティ交流会 参加者の満足度	実 績 値	目 標 値
		95%	100%
取組結果	【町内会・自治会への加入促進】 ・チラシを地域力推進課に配架、お問い合わせポストを区役所1階に設置。 ・要望のあった町内会・自治会等に参加促進リーフレットを提供。 ・愛知県宅建協会東名支部に参加促進の協力を依頼、チラシを配布。(6月) ・マンション住民への対策として、マンション住民向けリーフレットを作成。(3月) ・加入希望者の町内会・自治会への取り次ぎを実施。 【町内会・自治会のメリットや地域活動の広報】 ・広報なごや、区で作成したリーフレット、区ウェブサイト、SNS等の媒体を活用し、町内会・自治会の活動内容や地域での取り組みを発信。 【地域活動の運営支援】 ① 地域活動人材ネットワーク構築事業(11月) ・地域の役員等の交流の場に、学生(椋山女学園大学)も参加したワークショップを開催し、意見交換を実施。地域と学生をつなぐ機会をつくった。 ②地域活動におけるICT活用の推進事業、コミュニティ交流会(1月) ・次世代の地域活動の担い手となりうる方を対象に、ICTツールの紹介、演習及びワークショップを開催。今年度は、生成AIについての演習等を行った。		

めざすまちの姿2

安心して子育てができ、子どもや若者が健やかに成長できるまち

施策3 安心して子育てができるよう子育て家庭を応援します

施策4 子どもや若者が健やかに成長できる環境づくりを進めます

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	子ども（主に乳幼児）を安心して育てることができるまちだと思う区民の割合	82.2%	80.7%	87%
	新生児乳児訪問実施率	95.8%	100%	100%
	子育て支援事業における参加者の満足度	97.5%	97.6%	100%
	子ども（主に小学生以上）や若者が健やかに成長できるような取り組みが進んでいると思う区民の割合	76.4%	68.8%	80%
	防犯・交通安全・非行防止に係る啓発を受けた子どもや若者の人数	12,406人	15,537人	14,300人

【事業シート】

取組名14	新生児乳児家庭訪問			継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	新生児乳児家庭訪問を実施し、子育て世代が安心・安全に過ごせるよう支援します。			
取組内容	新生児乳児に家庭訪問を行い、新生児乳児期の子育て世代に対し、各家庭に応じた育児支援を行います。			
令和6年度 目 標	新生児乳児家庭訪問実施率	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	新生児・乳児訪問対象者:898人 新生児・乳児家庭訪問実施数:898人（訪問実施率100%）			

取組名15	エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)		全市展開 継 続
担当所属	民生子ども課	関係部所(署)	
目的	子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図ります。		
取組内容	・主任児童委員などが赤ちゃんのいる家庭を訪問し、情報提供や相談を実施 <対象>・生後3か月から6か月の第1子 ・市外から転入した生後6か月から1歳未満の第1子		
令和6年度 目 標	エンゼル訪問の訪問率	実 績 値	目 標 値
		89.4%	90%以上
取組結果	① 訪問 主任児童委員を中心に対象世帯を訪問 ・対象(転入)517(19)件中、462(16)件訪問/ 89.4% ※未訪問55(3)件中26(2)件は、保護者希望による資料ポスティング等で対応 ② 未訪問家庭の状況確認 ・未訪問55(3)件については、保健センターにおける3か月健診等の受診状況や転居を確認 ③ 主任児童委員連絡会 2回開催(9/18、2/20) ・配布物の外国語翻訳の実施(5 学区:千石、内山、大和(2 件)、春岡、星ヶ丘)		

取組名16	子育てサロンの支援		区独自 継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	
目的	乳幼児とその保護者が参加する地域とのつながりの場づくりを支援し、保護者同士の交流を促し、子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図ります。		
取組内容	・主に乳幼児のいる保護者同士の交流を目的とした子育てサロンを開催する地域団体に対して事業補助を実施 ・保健師や保育士による出張育児相談、保育案内人による出張保育園案内を行うことで、子育てサロンの充実を支援		
令和6年度 目 標	補助金交付・保育案内人・子育てネットワークちくさによる支援のうちいずれかを実施した学区数	実 績 値	目 標 値
		13 学区	12学区
取組結果	①サロンは全 15 学区で実施 ②子育てネットワークちくさとの連携 ・ネットワークちくさによる支援 4学区実施(高見、春岡、宮根、千代田橋) ③補助制度の運用 ・補助金交付 7 団体(大和、高見、春岡、見付、星ヶ丘、自由ヶ丘、自由ヶ丘女性会) ④9学区(内山、上野、高見、田代、東山、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋)に保育案内人が出張し、保育園案内を実施 ⑤主任児童委員連絡会を開催し情報共有(9/18、2/20 開催)		

取組名17	子育て家庭に対する連携した支援と児童虐待の防止		区独自 継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	子ども応援委員会・児童相談所
目的	子どもと家庭を取り巻く様々な課題の解決を図り、児童への虐待を防止します。		
取組内容	・関係機関と連携し妊娠期から切れ目のない支援を行い、児童虐待を防止する ・子育て家庭の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、多機関協働・連携を図り重層的な支援を進める ・5月・11月の児童虐待防止推進月間には、「オレンジリボンキャンペーン」を学生と連携して実施するほか、保護者を支援する講座を開催 ・児童虐待防止推進の標語を作成し、標語を活用した啓発を推進		
令和6年度 目標	①虐待死 ②児童虐待防止推進月間の啓発活動の実施回数	実 績 値	目 標 値
		① 0人 ② 11回	① 0人 ② 11回
取組結果	1.会議の開催 ・なごやこどもサポート千種区代表者会議 9月18日に開催(年1回) ・実務者会議 月1回開催 ・サポートチーム会議 4回開催 2.広報・啓発活動 ・5月と11月の児童虐待防止推進月間に、オレンジリボンキャンペーンを実施 ・庁舎玄関での啓発活動(6回) ・東山動植物園正門入口及びメガロス千種での啓発活動(各2回) ・ミニ子育て広場での啓発活動(1回) ・標語の作成 応募153点、最優秀2点・優秀2点 ・関係機関連絡会議における講演・グループワークを開催(1月29日) ・「イライラしない子育て」を開催(10月24日 21名(オンライン14名 会場7名参加)) ・「たたかないどならない子育て」を開催(9月～10月 全6回連続講座 12名参加) 3.教育と福祉の連携 ・子ども応援委員会 SSW の区職員併任 ・兼務児童福祉司の校内チーム会議への参加(3回)		

取組名18	こあらっち子育て応援講座			区独自 継 続
担当所属	民生子ども課	関係部所(署)	千種児童館、758キッズ ステーション	
目的	子育て講座を通じて子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図ります。			
取組内容	子育て講座の開催 ・子育てのコツを学ぶ講座 ・保護者同士のつながりを深める連続講座			
令和6年度 目 標	講座が子育てに役立ったと思う 参加者の割合	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	＜イライラしない子育て講座＞ 参加人数:会場参加:7名、オンライン参加14名 計21名 開催日程:10月24日 講師:青少年養育支援センター陽氣会 杉江健二氏 役に立ったと思う参加者の割合:100%(アンケート回収数18人)			
	＜たたかないどならない子育て連続講座＞ 参加人数:12名(申込人数:36名) 託児:8名 開催日程:9月3日,10日,17日,24日, 10月1日,8日 全6回 講師:Office MOTOHIRO代表 競朗子氏 役に立ったと思う参加者の割合:100%(アンケート回収数 12 人)			

取組名19	子育てネットワーク事業の推進			継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	子育てネットワークちくさ、千種区保育園連絡会	
目的	乳幼児とその保護者が参加する地域とのつながりの場づくりを支援し、子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図ります。			
取組内容	・関係機関で構成する子育てネットワークちくさと連携し、地域における親子の交流の場である「ミニ子育て広場」を開催するとともに、「子育て支援情報がいど」を発行 ・「ミニ子育て広場」において保育案内人の出張保育園案内を実施し、保育園入所等に関する相談ができる機会を設ける ・千種区保育園連絡会と連携し、「子育て広場in千種」を開催			
令和6年度 目 標	子育て広場への参加者の満足度	実 績 値		目 標 値
		94.6%		100%
取組結果	①交流の場の開催 ・子育て広場in千種 10月26日(土)に開催 参加人数計: 117人(大人:66人、子ども:51人) 満足度:82.6% ・ミニ子育て広場 7回開催 参加人数計: 958人(大人:478人、子ども:480人) 満足度:96.4% ②子育て支援機関の連携 ・子育て支援ネットワーク連絡会を開催(5月23日/社協、エリア支援保育所、生涯学習センター、子育て支援拠点、主任児童委員、幼稚園、保育園、保健センター、区役所等) ③「子育て支援情報がいど」の作成:6,000部発行 ④保育案内人の出張保育園案内 14回実施 (子育てサロン 10 回、ミニ子育て広場 3 回、地域子育て支援拠点 1 回)			

取組名20	外国人家庭の子育て支援	区独自 拡 充	
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	
目的	外国人の子育て家庭に情報を分かりやすく伝え、孤立感・不安感の軽減を図ります。 外国人妊婦の健診未受診をなくし、安心・安全な出産を目指します。		
取組内容	① (民生子ども課): ・やさしい日本語と4ヶ国語による「子育て応援ガイド」を配布 ・コミュニケーションの難しさを解消するTV通訳機能が付いた「タブレット端末」を活用した家庭訪問等を実施 ・やさしい日本語と外国語による子育てサロンのチラシの作成 ② (保健予防課): ・妊婦面接時、出生報告受理時に外国語で記載した「子育てチャート(ベトナム語)」を用いて説明し、外国人(ベトナム人)妊婦・産婦に配付		
令和6年度 目標	① (民生子ども課)「タブレット端末」の活用満足度 ② (保健予防課)妊婦健診未受診者	実績値 ①100% ②0人	目標値 ① 100% ② 0人
取組結果	①(民生子ども課) 1.「子育て応援ガイド」の配布 ・新規配布先の検討 2.TV通訳機能が付いたタブレット端末の活用 ・活用実績:6件(うち、貸出したが使わなかった件数2件)／満足度100% 3.サロンチラシの翻訳の希望調査をし翻訳を実施(5学区:千石、内山、大和(2件)、春岡、星ヶ丘)、他サポートプランの翻訳1件 4.「R6年度版子育て支援情報がいど」の翻訳(英語) ②(保健予防課) R6.4～R7.2の母子健康手帳発行数:922件 うち外国語版母子健康手帳発行数:61件(ベトナム語版母子健康手帳の発行:23件) 妊婦面接後のアンケート結果:17名(アンケート回収)のうち、「安心した」88%、「理解できた」76%、「相談先がわかった」94%。		

取組名21	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室		拡 充
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	発育期にある子どもたちに対し、「食」に関心を持ってもらい、食を通じてコミュニケーションの機会を増やし、健康なからだところをつくります。		
取組内容	5歳から小学6年生を対象に、梶山女学園大学の学生と連携して親子クッキング教室を開催します。		
令和6年度 目 標	参加者の満足度	実 績 値	目 標 値
		100%	100%
取組結果	○実施日時・参加人数 令和6年8月1日・13組(保護者13名、子ども17名) 令和6年8月2日・10組(保護者11名、子ども4名) 令和7年3月25日・12組(保護者12名、子ども20名) ○実施場所 梶山女学園大学 管理栄養学科 調理実習室 ○参加者の満足度 100%		

取組名22	乳幼児期の食事づくりの支援(離乳食レシピ集の作成)		区独自 継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	
目的	学生等と連携し離乳食レシピを提供することで、乳幼児期の食事づくりの不安等の軽減を図ります。		
取組内容	・「離乳食レシピ集」を学生と連携して作成し配布 ・離乳食レシピを区公式ウェブサイトやSNS等を活用して幅広く発信するとともに、離乳食レシピ動画を「ちくさKeyちゃんねる」にて配信		
令和6年度 目 標	①離乳食レシピの区ウェブサイト、クックパッド、レシピ動画への総アクセス数 ②離乳食レシピ集 vol.4 の配布数	実 績 値	目 標 値
		①41,219 回 ② 1,625 部	①300,000回 ② 1,800部
取組結果	1.レシピ集Vol.5の作成・発行 2000部 2.レシピ集Vol.4の配布 ・3か月児健診、児童館、エリア支援保育所、ミニ子育て広場等にて1,625部配布 3.区公式ウェブサイトやSNS等を活用して幅広く発信 ・離乳食レシピの区ウェブサイト、クックパッド、レシピ動画への総アクセス数 41,219回(3月末現在)		

取組名23	防犯・交通安全・非行防止啓発等による青少年健全育成			区独自 拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	警察署	
目的	子どもや若者に対して、地域・学校・行政が一体となって見守り、防犯・交通安全・非行防止の意識醸成を図ります。			
取組内容	・幼児から小・中学校、高校生や大学生に対して、交通指導員をはじめ警察等と協働で年代や世代に応じた防犯・交通安全啓発を実施します。 ・「こども安心ドリル」の「防犯・交通安全編」(小学校1・2年生配付)に加えて新たに「インターネット・SNSトラブル防止編」(小学校6年生配付)を作成するとともに、青少年健全育成啓発用ポスター図画の募集、啓発キャンペーン、青少年育成区民大会を実施するなど非行防止や青少年健全育成の活動に取り組みます。			
令和6年度 目 標	防犯・交通安全・非行防止に係る啓発を受けた子どもや若者の人数	実 績 値	目 標 値	
		15,537 人	12,800 人	
取組結果	・防犯啓発者数 8,901 人 ・交通安全啓発者数 1,805人 ・非行防止に係る青少年健全育成啓発者数 4,831 人			

取組名24	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動			区独自 継 続
担当所属	環境薬務課	関係部所(署)		
目的	区内の高校・大学において学校と協力して薬物乱用防止啓発活動に取り組むことで、生徒・学生の薬物乱用の危険性についての正しい知識を深めます。			
取組内容	対象:区内の高校あるいは大学のうち1校 時期:令和6年度内 内容:学校側に啓発グッズの企画・作製から作製したグッズを用いた啓発活動(文化祭、ホームルームなど)の実施までを主体的に関わってもらう。			
令和6年度 目 標	取組に参加した生徒・学生の 理解度の向上	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	課題研究を行う 2 グループの生徒が主体となり啓発グッズを考案し、ウェットティッシュを作製するとともに啓発用 TikTok動画も作成した。その後、学校説明会、創立記念式典等においてグッズ配布や研究発表を行い、公式アカウントで動画公開し啓発活動を実施した。その後アンケートを実施し理解度向上についての評価を行った。			

誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち

施策5 高齢者が地域で安心して暮らせるように支援します

施策6 生涯にわたって心身ともに健康に暮らせるように支援します

施策7 障害に対する理解を深め、障害のある人の自立と社会参加を支援します

区将来ビジョン	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
	生きがいや楽しみを持って生活している高齢者の割合	86.8%	79.7%	92%
	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	10,522人	11,519人	14,000人
	健康づくり事業への参加者数	621人	1,257人	1,200人
	障害のある人が自立して、安心して暮らせるまちだと思える区民の割合	65.1%	51.5%	75%
	障害に対する啓発事業の参加者数	320人	410人	370人

【事業シート】

取組名25	地域包括ケアシステムの推進			継 続
担当所属	福祉課、保健予防課	関係部所(署)	いきいき支援センター	
目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができるようにします。			
取組内容	高齢になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、「医療・介護・認知症施策・介護予防・生活支援・住まい」の各サービスを一体的に提供することで、地域で支え合う仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を進めます。			
令和6年度 目 標	地域包括ケア推進会議の開催	実 績 値	目 標 値	
		2回	2回	
取組結果	(1) 地域包括ケア推進会議の開催 7月11日 令和6年度 第1回千種区地域包括ケア推進会議開催 2月27日 令和6年度 第2回千種区地域包括ケア推進会議開催 (2) 認知症専門部会の開催 6月6日 令和6年度 第1回千種区認知症専門部会開催 2月6日 令和6年度 第2回千種区認知症専門部会開催			

取組名26	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発			区独自 継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター	
目的	高齢者がこれからの時間の使い方や人生の最終段階の迎え方などを家族や身近な方と考え自分らしく暮らしていけるようにします。			
取組内容	・地域包括ケア講座の実施 ・「私の想いをつないで帳」出張講座の実施 ・チラシ配付やポスター掲示などの「私の想いをつないで帳」普及・啓発活動の実施			
令和6年度 目 標	「私の想いをつないで帳」の配付部数	実 績 値	目 標 値	
		688部	800部	
取組結果	「私の想いをつないで帳」の配付部数:688部配付 地域包括ケア講座の実施回数:1回(令和7年1月8日開催) 「私の想いをつないで帳」出張講座の実施回数:6回			

取組名27	高齢者の見守り活動			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター	
目的	高齢者が孤立しない生活を送れるようにします。			
取組内容	・高齢者福祉相談員による訪問 ・民生委員による訪問 ・いきいき支援センターによる見守り支援事業 ・高齢者見守りネットワーク連絡協議会を開催し情報共有 ・敬老手帳の緊急連絡先への記入を周知			
令和6年度 目 標	高齢者見守りネットワーク連絡協議会の 開催	実 績 値	目 標 値	
		実施	実施	
取組結果	・高齢者福祉相談員による訪問を実施した。 ・千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会を開催し、関係機関・事業者等の連携強化を図った。 ・高齢者の安否確認について、課内で定めた方針に沿った対応を行った。			

取組名28	高齢者の仲間づくり支援		継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	
目的	地域でいきいきと活動する高齢者の増加、地域における高齢者の自主的な活動を増やします。		
取組内容	・「高齢者仲間づくりコーナー」での情報発信 ・広報なごやで老人クラブの周知 ・老人クラブの各種行事(スポーツ大会、作品展、演芸大会)の活動支援 ・高齢者が集まるサロンや給食会等において仲間づくりに関する情報提供		
令和6年度 目 標	高齢者サロンでの仲間づくりに関する 情報提供の実施回数	実 績 値	目 標 値
		3回	3回
取組結果	○5/10 ペタンク大会(メタセコイア広場 42名) ○5/31 区老連総会・区長表彰 ○6/12 グラウンドゴルフ大会(メタセコイア広場 103名) ○7/16 カローリング・クロリティ大会(千種スポーツセンター 118名) ○9/13 親睦のつどい(西浦温泉 148名) ○10/16～20 趣味の作品展(来場者 625人) ○11/20 グラウンドゴルフ大会(メタセコイア広場 103名) ○12/11 ボッチャ大会(千種スポーツセンター 108名) ○1/21 文化健康講演会(千種文化小劇場 73名) ○2/18 演芸大会(千種文化小劇場 175名) ○高齢者向けパンフレット「千種区いきいきガイド」への老人クラブ加入案内の掲載 ○加入促進の記事を広報なごや千種区版に掲載(2月号)		

取組名29	認知症サポーターの育成・活動支援		継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター
目的	認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを増やします。		
取組内容	・サポーター養成講座の実施 ・認知症予防体操インストラクターによる体操実演 ・認知症カフェの運営支援		
令和6年度 目 標	サポーター養成講座受講者数 (累計)	実 績 値	目 標 値
		11,519人	10,800人
取組結果	サポーター養成講座受講者数:997人 ちくさ区認知症予防体操インストラクターによる体操実演:32回		

取組名30	認知症に対する正しい理解と知識の普及			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	保健予防課	
目的	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちをつくれます。			
取組内容	・市民講座の実施 ・市民シンポジウムの実施 ・認知症教室の実施 ・区民まつりでの啓発活動 ・千種区★名東区 認知症について学ぼう IN 星が丘テラスの実施			
令和6年度 目 標	市民講座、市民シンポジウム参加者	実 績 値	目 標 値	
		584人	500人	
取組結果	市民講座受講者数:495人 専門職研修会受講者数:181人 市民シンポジウム受講者数:89人 認知症教室:1小学校で実施 区民まつりでの啓発活動:参加者720人 千種区★名東区 認知症について学ぼう IN 星が丘テラス参加者数:162人 千種区 認知症について学ぼう IN 星が丘テラス参加者数:176人			

取組名31	千種つるかめセミナー フレイル講演会			継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	フレイルに関する講演会を開催し、主に高齢者の方がフレイル予防を日常の中で実践できるようにします。			
取組内容	介護状態やフレイルを予防するため、栄養や口腔ケア、健康的な身体づくりなどをテーマに、運動や音楽療法などを通じて楽しく学ぶ講演会を開催します。 ＊フレイル：高齢期の「衰弱」、「虚弱」、「脆弱(ぜいじゃく)」などに代わる新しい名称で、加齢に伴い、気力や体力など心身の活力が低下した状態のこと。			
令和6年度 目 標	参加者数	実 績 値	目 標 値	
		248 人	400 人	
取組結果	・開催数:6回 ・参加者数:248 人 5 月 音楽療法:57 人 7 月 運動指導:26 人 9 月 歯科指導:41 人 11 月 運動指導:26 人 1 月 運動指導:32 人 2 月 音楽療法:66 人			

取組名32	千種つるかめセミナー かめクッキング・男性クッキング		継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	調理等を交えながらフレイルに関するセミナーを行い、主に高齢者の方がフレイル予防を日常の中で実践できるようにします。		
取組内容	食と口腔ケアを通じてフレイル予防を学ぶ「かめクッキング」と、調理を通じて実践的な介護予防を学ぶとともに、食生活を楽しみながらバランスよく栄養がとれるコツなどをお伝えする「男性クッキング」を開催します。 ＊フレイル：高齢期の「衰弱」、「虚弱」、「脆弱(ぜいじゃく)」などに代わる新しい名称で、加齢に伴い、気力や体力など心身の活力が低下した状態のこと。		
令和6年度 目 標	参加者数	実 績 値	目 標 値
		103 人	50 人
取組結果	・実施回数：6回 ・合計参加者数：103 人 4月 かめクッキング 9人 6月 男性クッキング(まるごと元気教室) 14 人 8月 かめクッキング 12 人 10月 男性クッキング(まるごと元気教室) 18 人 12月 かめクッキング 12 人 3月 男性クッキング(まるごと元気教室)..... 38 人		

取組名33	ママのためのロコモ予防教室		拡 充
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	ロコモティブシンドロームに関する正しい知識の普及・啓発を行い、子育て中のお母さんが生活習慣の改善を図り、その予防に努められるようにします。		
取組内容	乳児(生後6か月以上1歳未満)を持つお母さんを対象に、ロコモティブシンドローム予防を学ぶ「ママのためのロコモ予防教室」を実施します。 ※ロコモティブシンドローム：骨や関節、筋肉など運動器が衰え、要介護や寝たきり状態になったり、その危険性が高くなったりする状態のこと。		
令和6年度 目 標	参加者数	実 績 値	目 標 値
		85 人	80 人
取組結果	・開催回数：8回 ・参加者数：85人 5月9人、6月5人、9月14人、10月12人、11月15人、12月11人、2月9人、3月10人		

取組名34	歯の健康づくりの推進		継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発を行います。		
取組内容	・歯と口の1日健康センターの開催(千種区歯科医師会と協働) ・8020運動達成者と歯と口の健康週間ポスター優秀作品の表彰(千種区歯科医師会と協働) ・歯と口の健康週間ポスター優秀作品の掲示(千種区歯科医師会と協働) ・保健センターにおいて歯の健康教室等を開催 ・稚園・保育園での保健指導及びフッ化物洗口実施の推進・支援		
令和6年度 目 標	保健センターの健康教室等の参加者の 満足度	実 績 値	目 標 値
		99%	100%
取組結果	・歯と口の一日健康センター(令和6年6月13日)・・・参加者数168名、満足度97% ・歯と口の健康週間ポスターを庁舎内で掲示(令和6年7月)・・・対象者32名 ・8020表彰(令和6年11月28日)・・・対象者170名 ・保健センターでの健康教室等・・・48回、313名、満足度99% ・幼稚園・保育園での保健指導・・・25回、892名 ・幼稚園、保育園のフッ化物洗口・・・9園		

取組名35	大学生を対象とした性感染症予防キャンペーン		新 規
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	20歳代を中心に増加している性感染症に関して、若年層に対しての啓発キャンペーンを行い、性感染症予防に対する意識を向上させます。		
取組内容	椋山女学園大学の学生と協働して予防啓発資材を作製し、学園祭などの機会を捉えて大学内で配布をします。予防啓発資材には、市公式ウェブサイトの啓発ページに誘導する二次元バーコードを印字します。		
令和6年度 目 標	啓発ページへのアクセス数	実 績 値	目 標 値
		154	300
取組結果	・椋山女学園大学の学生がデザインした啓発資材(コンドーム)500個作製 ・性感染症予防の啓発とクイズのウェブページを作成し、啓発資材に当該ページにアクセスできる二次元バーコードを印字 ・令和6年9月15日(日) 今池まつりで啓発資材430個配布 ・令和6年10月19日(土) 椋山女学園大学学園祭で啓発資材70個配布 ・クイズの回答数 154		

取組名36	啓発事業の実施とヘルプマークの普及			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	障害者基幹相談支援センター	
目的	障害や障害のある人への理解を深め、障害を理由とする差別を解消します。外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるヘルプマークを普及させます。			
取組内容	・障がい福祉フェスタを障害者自立支援連絡協議会と開催 ・福祉課でのヘルプマークの配布や広報なごや等での周知			
令和6年度 目 標	啓発事業の参加者数	実 績 値	目 標 値	
		410 人	330人	
取組結果	・令和7年2月1日(日) 千種文化小劇場「障がい福祉フェスタ」開催 (千種文化小劇場・モビリティゲート吹上の2会場開催) ・参加人数 410人 ・ヘルプマーク配付数:865 個			

取組名37	障害のある人への情報発信と防災研修			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	障害者基幹相談支援センター	
目的	障害のある人の自立と社会参加を増加させます。			
取組内容	・事業所マップ、ガイドブックを窓口や事業所で配布し、障害者自立支援連絡協議会のホームページでも公開 ・障害にかかわりのある方への防災研修等の実施			
令和6年度 目 標	防災研修等の参加者満足度	実 績 値	目 標 値	
		100%	80%	
取組結果	・令和6年11月13日 防災研修実施(会場:モビリティゲート吹上) 13人参加 アンケート回収人数11人 うち「とても参考になった・参考になった」と回答した人数11人			

取組名38	授産製品の販売促進		継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	
目的	障害のある人の自立と社会参加を増加させます。		
取組内容	・販売カタログ、販売事業所マップを窓口や関係機関に配付 ・大規模商業施設等において、授産製品の販売を実施 ・障がい福祉フェスタにおいて授産製品の販売事業所を紹介		
令和6年度 目 標	行事・イベント等での授産製品販売回数	実 績 値	目 標 値
		4 回	5 回以上
取組結果	・行事・イベント等での授産製品販売回数 4回実施 4月7日 高見学区福祉さくらまつり 7月30日 イオンタウン千種 9月24日 イオンタウン千種 2月1日 障がい福祉フェスタでの授産製品販売 ・授産製品の庁舎内販売は3事業所・各事業所月1～2 回実施		

取組名39	発達障害家族のつどい(家族教室)		区独自 継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	同じ悩みを抱える家族同士が集い、安心して話せる場を提供し、家族の不安や負担軽減を図ります。		
取組内容	成人期の発達障害について、そのご家族を対象に、発達障害家族のつどい(家族教室)を開催し、ご家族同士の交流、発達障害やそれに伴って生じる「生きづらさ」についての学習、接し方の習得、福祉制度などの情報提供を行います。		
令和6年度 目 標	家族教室に参加したことで、不安や負担が軽減したと回答した参加者の割合	実 績 値	目 標 値
		100%	100%
取組結果	・開催回数:12 回 ・評価方法:無記名アンケートにより、7月(9人)・2月(6人)が回答 ・家族教室に参加したことで、不安や負担が軽減したと回答した参加者の割合:100%		

めざすまちの姿4

魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち

施策8 まちの魅力発信を積極的に進めます

施策9 多様な世代等が参加できる文化芸術・スポーツ事業を進めます

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	区内に魅力的な歴史的資産等があると思う区民の割合	84.9%	70.3%	87%
	魅力発信事業の参加者数(累計)	1,973人	6,242人	6,000人
	この1年間に文化芸術に触れる機会があった区民の割合	53.8%	51.0%	59%
	文化芸術事業の参加者数	2,553人	2,541人	2,700人
	スポーツ事業の参加者数	2,623人	2,523人	2,900人

【事業シート】

取組名40	千種区情報リーフレット「みちくさマップ」を活用した魅力発信			拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)		
目的	区内の名所・旧跡や魅力スポットを紹介した情報リーフレットを活用し、区内の歴史的資産等の認知度を高め地域に対する誇りと愛着を高めます。			
取組内容	・区内の名所・旧跡や魅力スポットを紹介した「みちくさマップ」を区ウェブサイトで発信するほか区内公所等にて配布するとともに、まちあるきイベントを開催 ・学校と協働で「(子ども版)みちくさマップ」を作成し小学校に配布 ・Instagramで「千種区みちくさフォトコン」を実施する等SNSを活用した情報発信を実施			
令和6年度 目 標	まちあるきイベントの参加者数	実 績 値	目 標 値	
		198 人	250 人	
取組結果	○Instagram閲覧数(3月末時点):37,853件 ○「千種区みちくさフォトコンテスト」を実施 ・ 応募件数:全194枚(30人) うち Instagram:124枚(16人)、応募フォーム:70枚(14人) ・ 「みちくさマップ」の4コースについて3枚ずつ優秀作品を選出、広報なごやで発表 ○情報リーフレット「みちくさマップ」を区内公所等にて配布(計15,050部配布) ○子ども版「みちくさマップ」制作、印刷、配布(2,600部) ○「みちくさマップ」を利用したまちあるきイベントを実施(110人) ○子ども向けまちあるきイベントを実施(38人) ○名所がコースに入ったプロギング(ジョギングを行いながらごみを拾う)を実施(50人)			

取組名41	千種区民まつり			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)		
目的	幅広い世代がつどい交流を深める場として、千種区の魅力を活かした特色ある区民まつりを実施することにより、愛着心を高め誰もがまちの魅力を語れるまちを目指します。			
取組内容	地域や各種団体等の代表者により構成される千種区民まつり実行委員会が主体となって、多くの区民が楽しんで満足できるようなまつりを実施します。			
令和6年度 目 標	参加者満足度	実 績 値	目 標 値	
		99.1%	100%	
取組結果	10/6(日)平和公園メタセコイア広場で第 35 回千種区民まつりを実施した。 天候に恵まれ、昨年度を超える約 38,000 人の来場があった。 来場者アンケート 463 件の回答のうち、満足度は 99.1%（「よかった」79.8%、「まあまあよかった」19.3%）であった。			

取組名42	まちかど発掘事業		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区内にある地域の魅力が発掘できるまちあるきイベントを実施することによって、歴史的資産等に対する認知度を高め、地域に対する誇りと愛着を高めます。		
取組内容	・小学生を対象に、城山・覚王山地区の名所をめぐるイベント「お月見どろぼう」を実施 ・城山・覚王山地区の紅葉スポットや名所をめぐるイベント、名所でのインスタレーション展示、ワークショップを実施 ・区役所で昭和12年頃の城山・覚王山地区の区画整理組合鳥瞰図(複製)を展示		
令和6年度 目 標	定員に対する申し込み率	実 績 値	目 標 値
		98.3%	100%
取組結果	・9月14日(土)「お月見どろぼうとまちあるき」 定員:15名 申込:16名(申込率106%) 参加人数:子ども14名(付添大人9名、幼児1名) ※当日欠席2名 ・11月30日(土)紅葉企画【まちあるき(相応寺周辺の紅葉めぐり)と歴史講演会 定員:100名(40名(まちあるき)、60名(歴史講演会)) 申込:97名(申込率97%)(まちあるき40名、講演会57名) 参加人数:92人(40人(まちあるき)、52名(歴史講演会)) ※講演会当日キャンセル5名 ・城山・覚王山地区の区画整理組合鳥瞰図(複製)の展示(区役所) 申込者数:113名(16名+40名+57名)／定員:115名(15名+40名+60名) =98.3%(定員に対する申し込み率)		

取組名43	アジサイいっぱい運動		区独自 継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区の花「アジサイ」をPRし、区の魅力になるようにします。		
取組内容	・希望学区に苗を配付し、地域と協力して区内をアジサイでいっぱいにする ・アジサイ写真を募集し写真展を開催 ・庁舎周辺での掲示やSNS等の広報媒体を活用したPRを実施		
令和6年度 目 標	区の花「アジサイ」認知度	実 績 値	目 標 値
		46%	51%
取組結果	・植栽(区内コミセン・どんぐり広場等 25 カ所、合計 450 株) ・庁舎等におけるポスター掲示や広報なごやを活用したPR ・アジサイ写真募集及び展示(2か所) ・茶屋ヶ坂公園におけるアジサイ剪定、寒肥等 ・Instagramにアジサイ写真の投稿(85 枚) ※「区の花「アジサイ」認知度」の実績値は、千種区区民アンケート集計結果によるもの。		

取組名44	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」による区の魅力発信		区独自 継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」を積極的に活用し、区内の歴史的資産等の魅力を広め地域に対する愛着を高めます。		
取組内容	・着ぐるみの貸出やイラスト使用について積極的な広報を実施 ・区のイベントやキャンペーンにおいて、着ぐるみやイラスト、ゆるキャラトレカを活用するほか、こあらっちが出演する動画を製作、配信 ・区役所で着ぐるみを展示するほか、PRグッズを製作し、イベント参加者へ配付		
令和6年度 目 標	「こあらっち」認知度	実 績 値	目 標 値
		45%	50%
取組結果	・区役所2階への着ぐるみ展示:常時展示 ・着ぐるみの貸出や区のイベント・キャンペーンへの参加(青少年夏まもキャンペーン等38件) ・社協や千種警察署、保健センター等へのイラスト提供 ・区役所窓口及び郵送でのトレカ配布(366枚配布) ・15周年お祝い投稿(Facebook:令和6年9月) ・区内新一年生へのこあらっち反射材の配布 ・名古屋商業高校と連携したみちくさマップ紹介動画、グッズの制作 ・「こあらっち」グッズを作成し、PRに活用 ・こあらっちガチャの設置、運用(ガチャチケット配布703枚、ガチャ実施682回) ※こあらっち認知度の実績値は、千種区区民アンケート集計結果によるもの。		

取組名45	区公式ウェブサイト等の広報ツールを活用した魅力発信		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区公式ウェブサイトをはじめとした様々な広報ツールを活用し、千種区の魅力を発信することにより、多くの人が区の魅力を知る機会を作ります。		
取組内容	区公式ウェブサイト、広報なごや、YouTube等の各種広報ツールを活用して、区の魅力やイベント、区政に関する最新のお知らせなどの情報を幅広く提供します。		
令和6年度 目 標	区公式ウェブサイトアクセス数	実 績 値	目 標 値
		654, 218 件	776,000 件
取組結果	【区公式ウェブサイト】 ・記事更新件数:247件(前年度累計件数:279件) 前年度累計比88.5% ・総ページアクセス件数:654, 218件 (前年度累計比:85.9%(760, 808件)) 【動画発信】 ・「ちくさ key ちゃんねる」にて、15本の動画を投稿。(総公開本数 72 本) 【LINEによる広報】 ・39件のお知らせを配信。 【Xによる広報】 ・56件のお知らせを配信。 【ちくさボランティアカメラマン】 ・Facebook への写真掲載 91 件		

取組名46	謎解きで地域の魅力発見		新 規
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	若者をはじめ幅広い世代が、ゲーム感覚で気軽に楽しく参加できる謎解きイベントを実施することで、歴史的資産等に対する認知度を高め、地域に対する誇りと愛着を高めます。		
取組内容	・城山・覚王山地区に多く点在する歴史的・文化的に価値のある名所に謎解きを配置し、名所をめぐる謎解きイベントを実施 ・覚王山商店街組合はじめ地域の施設等と一体となって魅力を発信		
令和6年度 目 標	事業参加者数	実 績 値	目 標 値
		3, 935 人	2,000 人
取組結果	・城山・覚王山地区にて謎解きイベントを実施 ・特設ウェブサイト、SNS公開・運用(XとInstagram) ・広報なごや11月号に掲載 ・開催期間:令和6年11月5日(火)～令和7年1月31日(金) ・名古屋商業高校と連携した謎解き事業紹介動画の制作、動画の公開(名古屋商業高校TikTokにて)		

取組名47	文化芸術活動の振興			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)		
目的	多様な世代が気軽に文化芸術にふれられる機会を創出することで、文化芸術活動が活発な魅力あるまちを目指します。			
取組内容	文化芸術に親しみ、気軽にふれられるよう、季節の移ろいや自然の美しさを感じることができる「いけばな展」や、幅広い世代から個性あふれる作品が集まる「俳句・川柳コンクール」、自由な発想や豊かな感性により制作された作品が展示される「区民総合美術展・こども美術展」などを開催します。			
令和6年度 目 標	文化芸術事業の参加者数	実 績 値	目 標 値	
		2,541 人	2,580 人	
取組結果	・令和 6 年度予定 9 事業はすべて開催 ・2回目の開催である「こども美術展」の出品数は135 作品から 169 作品に大きく増加した。 若い世代が文化芸術に触れられる機会として定着してきている。			

取組名48	生涯スポーツの振興			拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)		
目的	誰もが生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツによる交流の輪を広げることで、地域の活性化を図ります。			
取組内容	・千種区・名東区家族ジョギング・ウォーキング大会をはじめ、区民が参加できる各種スポーツ大会等を開催 ・新たにファイティングイーグルス名古屋の協力のもと、区内小学生を対象に、バスケットボールを楽しく学び、実践的な練習を体験できる教室を開催 ・地域等でのスポーツに取り組む環境作りを促進するため、スポーツ用具(ボッチャ、グラウンドゴルフ)の貸し出しを実施			
令和6年度 目 標	スポーツ事業の参加者数	実 績 値	目 標 値	
		2,523 人	2,680 人	
取組結果	・千種区役所主催で21のスポーツ事業を開催 ・こどもバスケットボール教室、親子でボッチャ体験会(メガロス千種連携事業、民生子ども課・福祉課共催)を新たに開催			

快適な都市環境とを感じるまち

施策10 きれいで気持ちよく暮らせる環境をつくります

施策11 身近な自然にふれる機会をつくります

区 将来 ビジョン	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
	きれいで気持ちよく暮らせるまちだと感じる区民の割合	92.4%	90.4%	95%
	ペットの飼主マナーの向上に向けた事業参加者のうち効果があると思うと回答した人の割合	80.0%	79.4%	90%
	「緑のまちづくり活動」に携わった人数(年間延べ人数)	12,960人	12,550人	13,300人

【事業シート】

取組名49	クリーンキャンペーン			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	環境事業所	
目的	「環境デーなごや」の主要事業として行われる「クリーンキャンペーン・なごや」にあわせて、地域の幅広い世代の参加者とともに、区内の道路や公園の清掃活動や町を美しくするための啓発活動を実施することで、美しいまちを自らの手で作り上げるという機運を高めます。			
取組内容	・区内の公園や小学校を中心に区民やボランティア団体・学校・関係行政機関等の参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施 ・町を美しくする運動にご協力いただける区内の企業・団体を募集し、千種区クリーンキャンペーンへの参加を呼びかける			
令和6年度 目 標	実施学区数	実 績 値	目 標 値	
		15 学区	15 学区	
取組結果	令和6年6月1日を中心に実施(千種学区は6月8日、大和学区は9月28日に実施) 15学区 1,712人参加 区内の小学校、公園を中心に区民やボランティア団体・関係行政機関参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施した。			

取組名50	資源とごみの分別等の周知			継 続
担当所属	環境事業所	関係部所(署)		
目的	資源とごみの分別を進め、正しく排出していただくことにより、ごみの量を低減し、きれいで気持ちよく暮らせる環境の実現を目指します。			
取組内容	資源・ごみの分別の仕方や排出方法等を広報なごや、イベント、窓口等で周知します。特に、転入者や市政の情報が伝わりにくい学生・外国人等には分別アプリ「さんあ〜る」やパンフレット等を活用し、効果的な広報・啓発を進めます。			
令和6年度 目 標	資源・ごみの分別の仕方や排出方法等の周知のための取り組み件数	実 績 値	目 標 値	
		28件	27件	
取組結果	大学生等に対する啓発 11件 施設見学 7件 出前講座 4件 イベント出展 3件 その他取り組み 3件			

取組名51	ペットの飼主マナーの向上に関する啓発活動			区独自 継 続
担当所属	保健管理課	関係部所(署)		
目的	ペットの飼主等のマナー向上を図り、きれいで気持ちよく暮らせるまちを目指します。			
取組内容	・地域との協働で「ペットの飼主マナーパトロール」を実施 ・「千種わんだフルサポーター(犬の散歩マナー宣言を行い実践する飼主)」の募集 ・地域ののら猫の避妊去勢手術の実施を補助券の交付により推進 ※すべて通年			
令和6年度 目 標	①飼主マナーパトロール参加者のうち、 効果を感じた人の割合 ②千種わんだフルサポーター宣言者数	実 績 値	目 標 値	
		①79.4% ②130名	① 82% ②130名	
取組結果	・千種わんだフルサポーターとなることの宣言(130名) ・のら猫の避妊去勢手術券の交付(196件) ・飼主マナーパトロール実施回数 5回(実施して効果があったとの回答79.4%) 高見学区(10月11日)、千代田橋学区(10月17日)、上野学区(10月18日)、 宮根学区(10月25日)、大和学区(2月14日)			

取組名52	空家の適切な管理の促進				継 続			
担当所属	地域力推進課		関係部所(署)	スポーツ市民局地域振興課、環境業務課、土木事務所、環境事業所、消防署				
目的	管理が不適切な空家に関する情報収集を進め、市や区内関係公所との連携を密にして、区内空家の適切な管理を促進します。							
取組内容	・情報提供のあった空家について、現地調査を行い実態を把握 ・不適切な管理状態の空家の所有者等に対して、適切な管理を依頼するとともに、未対応の場合には指導を行う ・関係公所の職員と空家等対策会議を開催し、対応に行き詰った空家の所有者等の情報の共有や対応の検討を行う							
令和6年度 目 標	管理不適切な空家等に対する 対応済率		実 績 値		目 標 値			
			72.7%		50%			
取組結果	○相談・対応件数							
		相談件数	要対応件数	対応済	一部対応済	対応予定	未対応	対応済率
	R6	118	55	22	5	13	15	72.7%
	〈参考〉 R5	101	45	9	9	4	23	48.9%
	※対応済率＝対応済み＋対応予定＋一部対応/要対応件数 ×100							
	千種区内の管理不全空家(累計) 111件 ※R7.3月時点(前年同月 86件)							
取組結果	○会議の開催							
	・千種区空家等対策会議(5月27日)							
	・第1回千種区空家等対策PT会議(5月27日)							
	・第2回千種区空家等対策PT会議(2月17日)							

取組名53	空地进行をきれいにする運動					継 続		
担当所属	地域力推進課			関係部所(署)				
目的	学区の協力のもと、6月から10月まで「空地进行をきれいにする運動」をすすめ、管理の不適切な空地进行の所有者に対して、草刈や樹木の剪定等、適切な管理を呼びかけます。							
取組内容	・情報提供のあった空地进行について、現地調査を行い、実態を把握 ・不適切な管理状態の空地进行の所有者等に対して、適切な管理を依頼するとともに、未対応の場合には勧告を行う							
令和6年度 目 標	管理不適切な空地进行に対する 対応済率			実 績 値		目 標 値		
				87.0%		75%		
取組結果	○相談・対応実績							
		相談件数	要対応箇所	対応済	一部対応済	対応予定	未対応	対応済率
	R6	87件	69箇所	59箇所	1箇所	0箇所	9箇所	87.0%
	・ 相談を受け付けたものについて随時対応 ・ 対応予定箇所及び未対応箇所について、対応状況を实地調査により確認 ・ 未対応箇所について、必要に応じて写真等を同封のうえ対応を再依頼。それでも対応しない所有者に対しては、勧告文を送付。 9月 第1回勧告文送付 6件（5箇所） ・ 総括担当者による進捗確認・フォローの実施							

取組名54	住居の不良堆積物への対策			継 続																								
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	環境局作業課・民生子ども課・福祉課・環境業務課・土木事務所・環境事業所・消防署																									
目的	住居(共同住宅を含む)に物品が堆積又は放置されることによって、周辺の生活環境に悪影響を与えている状態を解消し、区民の安全で快適な生活環境を確保します。																											
取組内容	・関係部所(署)と連携し、相談・初期対応するとともに、堆積者への支援を実施																											
令和6年度 目 標	解消済案件の再発件数	実 績 値	目 標 値																									
		0 件	0 件																									
取組結果	○相談実績																											
	<table><tr><td>区分</td><td>R6件数</td><td>(参考)R5件数</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>7</td><td>6</td></tr><tr><td>不良な状態に該当</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>不良な状態のおそれあり</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>うち 支援によって改善</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>うち 支援継続中</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>不良な状態のおそれなし</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>再発件数</td><td>0</td><td></td></tr></table>				区分	R6件数	(参考)R5件数	相談件数	7	6	不良な状態に該当	0	0	不良な状態のおそれあり	3	2	うち 支援によって改善	3	2	うち 支援継続中	0	0	不良な状態のおそれなし	4	4	再発件数	0	
	区分	R6件数	(参考)R5件数																									
	相談件数	7	6																									
	不良な状態に該当	0	0																									
	不良な状態のおそれあり	3	2																									
	うち 支援によって改善	3	2																									
	うち 支援継続中	0	0																									
	不良な状態のおそれなし	4	4																									
	再発件数	0																										
・令和元年度より支援継続中の案件 1 件につき、[u1]支援者の転居により令和 7 年 3 月に千種区での支援を終結。																												
○関係部署との連携																												
・住居の不良堆積物対策会議を2月3日に実施、各部署の役割、対応等を確認。																												

取組名55	地域貢献メニューへの参加促進		継 続
担当所属	土木事務所	関係部所(署)	
目的	公園・街路樹の各愛護会による緑のまちづくり活動などの地域貢献や、歩道橋ネーミングライツ・街路灯パートナー・スポンサー花壇・なごやかベンチ・まごころ遊具などの社会貢献のメニューを呼びかけ、参加者を増やしていきます。		
取組内容	広報なごやへの掲載やPRチラシの配架などを行って愛護会活動を周知する他、窓口に来所した環境美化や花壇管理に関心のある区民に愛護会制度を丁寧に説明するなど、緑のまちづくり活動への参加を積極的に呼びかけていきます。 また、街路灯パートナー等についても、ウェブサイト等で紹介を行い、参加を呼びかけていきます。		
令和6年度 目 標	緑のまちづくり活動に携わった人数 (年間延べ人数)	実 績 値	目 標 値
		12,550人	13,030 人
取組結果	・広報なごや等で愛護会に関する情報を提供するとともに、関心のある区民に丁寧に説明するなどの取り組みを行った結果、愛護会の新規設立が2団体ありました。 ・街路灯パートナー等について、広報なごやへの掲載、PRチラシの配架等の広報に努めましたが、新規契約はありませんでした。		

信頼される区役所づくり

施策12 区民ニーズの把握

施策13 区民サービスの向上

区 将 来 シ ン 	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和6年度	目標値 (令和10年度)
	区役所が区民ニーズを把握していると思う区民の割合	72.9%	60.4%	83%
	区役所の窓口サービスに満足している区民の割合	97.0%	94.3%	100%

【事業シート】

取組名56	千種区区民会議			継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)		
目的	区政に対する区民の意見を聴取し、区民ニーズを把握します。			
取組内容	区政運営方針や今後の千種区のめざす将来像について広く区民の意見を募り、今後の区政運営に活かしていきます。(開催時期等は検討中)			
令和6年度 目 標	区民会議の開催	実 績 値	目 標 値	
		実 施	実 施	
取組結果	区民会議の開催結果 ・日時:令和6年7月13日(土) ・会場:今池ガスビル7階 ダイアモンドルーム ・参加者数:構成員23人、事務局等18人(傍聴者数:1人)			

取組名57	区民アンケート		継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)	
目的	区政運営方針の事業効果を測定し、課題抽出を行います。		
取組内容	調査対象:区内在住の男女2,000人(無作為抽出) 調査時期:6月下旬～7月下旬 調査項目:・区政運営方針の取組結果について ・区政運営方針策定に向けたニーズ調査 等 アンケート結果については、区ウェブサイトに掲載します。(10月下旬頃)		
令和6年度 目 標	アンケート回収率	実 績 値	目 標 値
		38.7%	50%
取組結果	・調査期間:令和6年6月24日(月)から 7 月31日(水)まで ・対象者:区在住の 18 歳以上の男女 2,000 人(外国人含む。無作為抽出) ・回答数:773 人(回収率 38.7%) ・アンケート結果及びいただいた意見を各課関係公所(署)と共有 ・アンケート結果を区ウェブサイトへ掲載		

取組名58	地域担当制による地域との連携			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	地域力推進課	
目的	地域とのコミュニケーションを深めることにより、地域ニーズの把握に努め、地域課題解決に向け地域と行政の連携の強化を図ります。			
取組内容	・各学区を担当する地域担当職員を決め、担当学区の防災訓練、集中街頭大監視を始めとした各種行事に参加 ・地域担当職員を窓口として、地域の課題解決に向けた関係課室、公所等との橋渡しを行う ・あじさいプランをはじめとした区政に関する情報を学区連絡協議会等で広報			
令和6年度 目 標	地域担当職員が年 6 回以上学区連絡協議会、学区行事等に参加する学区数	実 績 値	目 標 値	
		1 4 学区	1 5 学区	
取組結果	○ 区役所・保健センターの課長及び地域力推進課職員を学区担当として割り振り、地域で開催される事業等に参加（延べ113回）し、地域とのコミュニケーションを図った。また、寄せられた要望・課題等を関係課・機関等に伝え、地域と行政の橋渡しを行った。 ・ クリーンキャンペーン 15学区のクリーンキャンペーンに参加し実施 ・ 交通大監視（4月：9学区、7月：4学区、9月：9学区、12月：8学区） ・ 学区防災訓練 7学区(千石、高見、田代、東山、自由ヶ丘、富士見台、宮根)の学区防災訓練に参加し実施 ・ あじさいプラン2024の説明 11学区(内山、大和、上野、高見、春岡、田代、東山、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋)の連協に参加し実施 ・ 学区夏祭り・秋祭りなど 11学区（千石、大和、上野、高見、春岡、田代、東山、見付、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、千代田橋）の夏祭り・盆踊りに参加し実施 ・ 学区敬老行事 9学区(千種、千石、内山、大和、上野、高見、東山、自由ヶ丘、富士見台、千代田橋)の学区敬老行事に参加し実施 ・ 成人式 15学区の成人式に参加し実施 その他、運動会、コミセンまつりなどに参加			

取組名59	千種区わかもの会議		区独自 継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)	
目的	高校・大学の学校数と学生数が市内で最も多いという千種区の特徴を活かし、サマープログラムを通して「わかもの」の意見を聴取し、区政運営に活かします。		
取組内容	サマープログラムを実施します。 テーマ：区の特徴に応じたまちづくり事業の立案 日程：2日間(日付未定。2日目に施策提案のプレゼン実施) 対象：区政に関心のある高校生・大学生・大学院生 (参加者募集については、広報なごや区版等で広報予定。) 会議で受けた提案は、今後の事業に活かしていけるよう、区役所内で共有します。		
令和6年度 目 標	わかもの会議の開催	実 績 値	目 標 値
		実 施	実 施
取組結果	わかもの会議の開催結果 ・日時:令和6年8月28日、29日 ・参加者:4グループ15人 ・テーマ:わかものへの防災啓発・地域防災への参加 区内名所の魅力発信!! わかものを対象とした食育の啓発		

取組名60	わかもの向けの選挙啓発		区独自 継 続
担当所属	千種区選挙管理委員会	関係部所(署)	
目的	将来を担う「わかもの」の選挙に対する関心を高めます。		
取組内容	・中学・高校の生徒及び大学生を中心とした「わかもの」向けの選挙啓発事業の実施 ・「わかもの」向けの選挙啓発動画の配信 ・千種区独自の「千種区わかもの選挙サポーター」の募集を引き続き行い、サポーターと協働できる事業を実施		
令和6年度 目 標	わかもの向けの選挙啓発事業等の 実施回数	実 績 値	目 標 値
		18 回実施	20 回以上
取組結果	・選挙出前トーク 4回 ・わかもの選挙サポーターとの打ち合わせ・募集チラシ配布 7回 ・選挙資材の貸出 4回 ・明るい選挙千種区推進のつどい 1回 ・千種区民まつり(模擬投票) 1回 ・明るい選挙ポスター・書道千種区作品展 1回		

取組名61	窓口環境の整備			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	各課	
目的	初めて訪れた来庁者でも迅速かつ効率的に来庁目的が達成できるようにします。 おもてなしの心で来庁者をお迎えするようにします。			
取組内容	・福祉コンシェルジュを始めとした各フロアサービススタッフによる案内を実施 ・外国語通訳スタッフや翻訳機、タブレットを活用した外国語による案内を実施 ・おくやみコーナーを設置し、効率的に手続きが行えるようにする ・ロビーに生け花展示 ・結婚お祝いカードの贈呈 ・区役所女子トイレへ生理用品を配置(無料)			
令和6年度 目 標	区役所の窓口サービスに満足している区民の割合	実 績 値		目 標 値
		94.3%		100%
取組結果	○手すり、トイレ等が障害者に使いづらいという声があり、改修を行った。			
	○転出入時期の庁舎内・駐車場混雑緩和のため待合場所の増設・誘導、第2駐車場への誘導、マイナンバーカード・インターネット活用による来庁分散化呼びかけなどを実施するとともに、円滑な案内を行えるよう独自予算の活用によりフロアサービスを増員した。			
	○窓口アンケートの実施（11月14日～12月4日実施）			
	来庁者544名から回答をいただき、窓口サービスに満足している区民の割合は94.3%であった。			
	○各種実績			
	フロアサービス（庁舎総合案内）			
	庁舎案内件数		47,087件	
	記載指導補助件数		29,483件	
	資料案内・提供件数		2,258件	
	保険年金課フロアサービス			
	窓口案内件数		41,775件	
	記載補助件数		26,796件	
	保険証等回収件数		281件	
	福祉コンシェルジュ			
	窓口案内件数		13,210件	
	記載補助件数		738件	
	相談対応件数		1,340件	
	タブレット端末（外国語対応）			
	利用件数		8件	
	生け花			
設置瓶数		98瓶		
結婚お祝いカード				
配付件数		744件		
おくやみコーナー				
申請書一括作成者対応件数		574件		
おくやみ案内のみ対応件数		281件		
おくやみ以外対応件数		479件		
受電件数		436件		

取組名62	接遇の向上			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	各課	
目的	・区役所職員一人ひとりの説明力等の資質向上や業務に関する十分な知識習得を図り、来庁者が正確かつ効率的に来庁目的を達成できるようにします。 ・さわやかなあいさつ、丁寧な対応を心がけ、来庁者の満足度向上を目指します。			
取組内容	・各職場が「接遇・CS向上宣言」を掲げ、窓口の区民満足度を向上させる取り組みを実施 ・ご意見箱の設置、千種区独自の窓口アンケートの実施等により、来庁者の意見を把握し、課題・改善点を区役所内で共有 ・接遇に関する問題点を把握、課題改善に向けた取り組みを行う外部講師による研修を実施 ・研修内容を共有し区役所職員全体の接遇能力の向上を目指す			
令和6年度 目 標	・区役所の窓口サービスに満足している区民の割合 ・各所属におけるクレーム発生件数	実 績 値	目 標 値	
		94.3% 前年比 72%減少	100% 前年比 10%減少	
取組結果	○各所属において、「接遇・CS向上宣言」を策定し、宣言達成に向けた取り組みを実施（4月～） ○1階ロビーにご意見箱を設置し、接遇等への要望を把握、必要に応じ各所属へ要望内容を周知、改善を依頼した（ご意見箱、市民の声に寄せられた接遇に関するクレーム発生件数・・・R5：3.6件／月⇒R6：1.0件／月） ○外部講師による接遇研修の実施 ・やさしい日本語研修 10月31日実施 12名参加 ・認知症サポーター養成講座 10月28日実施 18名参加 ・接遇研修（クレーム対応） 11月21日実施 20名参加 ○窓口アンケートの実施（11月14日～12月4日実施） 来庁者544名から回答をいただき、窓口サービスに満足している区民の割合は94.3%であった。			

取組名63	業務改善			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	各課	
目的	区民目線に立った業務改善を検討・実施することにより、利用しやすい区役所づくりを行うとともに、業務の効率化を図ります。			
取組内容	職員一人ひとりが身の回りの小さなことから業務改善を実施します。 すみやか業務改善運動等の機会をとらえ、職場内で改善事例を共有し、継続的に業務改善を行う機運を高めます。			
令和6年度 目 標	業務改善の取り組み件数	実 績 値	目 標 値	
		1 0 件	1 0 件	
取組結果	○ご意見箱の意見等を参考に随時業務の見直しを実施 ・障害者の方等が使いやすいよう、トイレの出入口、スロープの手すりなどを改修した。 ・シャトルバスの待合場所を窓口の混雑状況、気候などを見ながら適宜変更するとともに、積み残し防止のため待合場所を目立たせ、発車時間の声掛けもシャトルバスの案内であることが分かるよう運転手に案内板をもたせるように改善した。 ○他所属業務体験研修（区独自研修）の実施（7月19日～8月28日）参加者：8名 ○全市的な取り組みは令和5年度で終了し、今年度は千種区独自に11月6日付で各課へ業務改善成果について照会し、10件の成果について横展開を行った。			

取組名64	多文化共生に向けた取り組み			継 続
担当所属	総務課・地域力推進課	関係部所(署)	各課	
目的	国籍や民族などの違いによって行政サービスの格差が生じないように努めます。 地域社会における多様な文化や慣習の理解と尊重を促進し、国籍や民族などに関わらず、地域の構成員として平等に参加できる社会の実現を目指します。			
取組内容	・区役所窓口において多言語対応ややさしい日本語を用いた対応を実施 ・日本人住民と外国人住民の交流会を実施			
令和6年度 目 標	交流会の参加者満足度	実 績 値	目 標 値	
		100%	95%以上	
取組結果	・4月～外国人総合案内(コンシェルジュ)を設置 月・木(英語)、火(ベトナム語) ・3/20(木・祝)に日本人住民と外国人住民の交流会として「多文化料理教室～外国人の皆さんと料理を楽しみませんか?～」を実施した。多文化共生についての講演とあわせて、外国人講師9人と参加者34人が「やさしい日本語」を使って一緒に外国の料理を作り、交流するイベントを行った。 ※参加者アンケート満足度100%（「参加してよかった」、「まあよかった」の割合） ・多文化共生パンフレットやウェルカムリーフレットを来庁者に配布したほか、外国人に向けた千種区の生活ルール・紹介動画「Life in Chikusaku」の再生回数合計 1,052 回(ゴミの出し方:358 回、国民健康保険:243 回、病院:211 回、区の魅力:240 回)。(3月末時点)			